



西二小だより

須賀川市立西袋第二小学校
平成20年1月8日 第49号
発行者 校長 吾妻 敦

www.nishibukuro2-e.fks.ed.jp/ E-mail:school@nishibukuro2-e.fks.ed.jp



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。保護者及び地域の皆様方には、新しい年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。大きなけがや事故等なく冬休みを過ごし、年末年始を元気に過ごした子ども達の顔を本日の第3学期始業式で見ることができ、職員一同嬉しく思っております。

3学期は一年間の学習の振り返りやまとめの時期だけではなく、自分自身の成長を確かめたり、新しい学年への準備を進めたりする大切な学期でもあります。しかしながら、この3学期の授業日数は51日しかありません。この短い3学期をどのように過ごしていくかは、子ども達にとって大きな課題です。私達教職員にとっても、子ども達にとって実りある充実した学期とすることができるよう力を合わせて支援していきたいと考えております。

さて、今年は子年(ねずみどし)。子(ねずみ)という干支は、ご存じのとおり十二支の第1番目ではありますが、「子」という字には、「ふえる」という意味があり、種子の中に新しい生命が芽生える様子を表しているそうです。また、『古事記』等によると、ネズミは七福神の一人である大黒天の使者ともされているとのこと。子ども達にとって更なる成長の足がかりとなるよう、職員一同努めて参りたいと思いますので、保護者及び地域の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げまして、新年の挨拶といたします。



来年度の教育課程・教育計画編成始まる

現在、本校では、昨年11月に保護者の皆様方からいただいた学校評価アンケートの結果を参考にさせていただきながら、来年度の教育課程・教育計画の編成に取り組んでいるところです。

学校評価アンケートの詳細については、昨年末に各家庭へ配布しましたが、本校の児童の実態や地域の本校教育活動への願い等を十分考慮しながら、よりよい教育課程・教育計画を編成していきたいと考えております。

一年の計は元旦にあり～新聞記事より

元日(1/1)付のマメタイムスの「子年生まれの小学生大集合!!-2008年の抱負-」のコーナーにおいて、本校より佐浦大地くん、樽川和さんの2名の今年の抱負が顔写真付きで掲載されました。

「一年の計は元旦にあり」ということわざがありますが、「何事もはじめにきちんと計画を立てなさい」という意味が込められています。

子ども達一人一人にしっかりとした目標を持って、新しい年をスタートしてもらいたいと思います。

